

イチャオシ!

M OVIE

『サラエヴォの銃声』

第一次世界大戦勃発のきっかけとなったサラエボ事件から100年。「ホテル・ヨーロッパ」は記念式典を行うための準備に追われていた。屋上で戦争についてインタビューするジャーナリスト、演説の練習をするVIP、ストライキを企てる従業員たちとそれを阻止しようとする支配人——。さまざまな思惑がぶつかりあい、緊張感が高まる中、一発の銃声が鳴り響く。20世紀屈指の重大事件を題材に、同時進行で繰り広げられる人々の運命の交錯劇を描いた作品だ。



© Margo Cinema, SCCA/pro.ba 2016

2016年 / フランス=ボスニア・ヘルツェゴビナ / 85分

監督・脚本：ダニス・タノヴィッチ

出演：ジャック・ウェバー、スネジナ・ヴイドヴィッチ、イズディン・パイロヴィッチ他

公開：3月25日(土)より、新宿シネマカリテほか全国順次ロードショー!

URL：<http://www.bitters.co.jp/tanovic/>

配給：ビターズ・エンド

E VENT

『N・S・ハルシャ展：チャーミングな旅』

南インドの古都マイソールを拠点に活動するインド人アーティスト、N・S・ハルシャ。南インドの伝統文化や自然環境と真摯に向き合う彼の創作姿勢は、国際的に高く評価されてきた。絵画を中心とするN・S・ハルシャの作品に通底するのは、ひとの身体に象徴される小宇宙と森羅万象を包む大宇宙を同時に捉える世界観。自然や素朴な日常生活を描いた絵画には、南インドの地方都市から同国の政治経済や文化を観察するN・S・ハルシャの批評的なまなざしを見ることが出来る。本展では、新作を含む1995年以降の主要作品約70点を展示している。多彩な表現技法で世相を批評的かつユーモラスに描くN・S・ハルシャの作品を見に行こう。



2011年 アクリル、キャンバス 76 x 107 cm 個人蔵

会期：2月4日(土)～6月11日(日) 10:00～22:00(火曜は17:00まで)

※会期中無休。入館は閉館時間の30分前まで

場所：森美術館(東京都港区。六本木ヒルズ森タワー53階)

入館料：一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子ども(4歳～中学生)

600円、シニア(65歳以上)1,500円

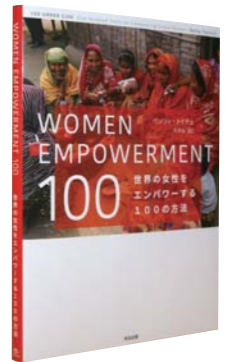
問：03-5777-8600(ハローダイヤル)

URL：http://www.mori.art.museum/contents/n_s_harsha/index.html

B OOK

『WOMEN EMPOWERMENT 100 世界の女性をエンパワーする100の方法』

「貧困に苦しむ女性」と聞いてイメージするのは、ただ助けを待ただけの女性たちの姿ではないだろうか。しかし、世界の女性は自分たちで水質を検査したり、村で貯蓄貸付グループを組織したりするなど、貧困から脱出するために奮闘している。この本では、保健や農業、情報通信技術(ICT)、法的ツールなどの11のテーマを取り上げ、具体的なプロジェクトを紹介しながら女性のエンパワーメントを通じた貧困の解決策を提案している。取り組みは、「読者が実行できるアイデア」「現地で手に入る材料で作れる」など、分かりやすく整理されており、読むだけでなく、活用できる一冊となっている。



ベッツィ・トイチュ 著
松本 裕 訳
英治出版
2,592円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

B OOK

『青年海外協力隊の軌跡と展望 世界を翔ける日本青年の素顔』

世界各地で、地元の人たちと力を合わせて地域問題の解決に貢献する日本の若者たち——青年海外協力隊の存在を知ることが増えている一方、その具体的な活動内容や彼らの奮闘ぶりはあまり知られていない。青年海外協力隊は50年の歴史の中で、時勢を反映したニーズに応え、任務を遂行してきた。見知らぬ土地で、現地社会に溶け込んで問題解決に尽力する隊員の熱い思いと、彼らが各地に残した功績を振り返り、新しいステージに向かう協力隊の在り方を探る。



杉下 恒夫 著
万葉舎
1,296円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ